

平成24年10月24日  
神戸介護老人保健施設協会  
(社)兵庫県介護老人保健施設協会神戸支部  
会長・支部長 有本 雅子

晩秋の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。会員各位に於かれましては、平素は格別のご高配を賜りまして厚く御礼申し上げます。

また、神戸介護老人保健施設協会の今年度の事業計画につきましては、当初の計画通り円滑に実施されており、皆様方のご協力ご支援に深謝致します。

以下、平成24年度前期に於ける協会活動のあらましをご報告致します。

## ◆平成24年度 神戸介護老人保健施設協会「総会」の開催報告について

日時 平成24年4月25日(水) 16:00~17:00  
場所 神戸ポートピアホテル本館地下1階 和楽の間  
参加 37施設/87名  
神戸市保健福祉局より 介護保険課長他 6名様(新任者紹介等)  
神戸市社会福祉協議会より 2名様(神戸市委託業務の説明・報告等)



事前に配布した総会資料に沿って、吉川議長進行による順次の議案詮議を行い、平成23年度事業報告並びに会計報告、続いて平成24年度事業計画及び会計予算の提案等、予定の議事進行により会員各施設の承認を得て、無事に「総会」を終了しました。

## ◆平成24年度 神戸介護老人保健施設協会「総会レセプション」の開催報告について

日時 平成24年4月25日(水) 17:30~19:00  
場所 神戸ポートピアホテル本館地下1階 偕楽の間  
参加 28施設/80名  
来賓 神戸市保健福祉局長：雪村 新之助 様  
神戸市高齢福祉部長：土井 義和 様 他、神戸市3名様  
兵庫県介護老人保健施設協会 会長：森村 安史 様



総会終了後、会員相互の懇親、及び関係行政等との交流を目的に「総会レセプション」を開催し、フルート奏者：南部 やすか 様ら豪華ゲストによる《フルート／チェロ／ピアノの3奏セッションコンサート》が披露される等、盛会のうちに本催事を終了しました。

## ◆協会事業の実施報告について

### 1) 『学術研修会』

日 時 平成24年7月4日（木） 10：00～15：00  
 場 所 神戸ポートピアホテル本館地下1階 布引・北野の間  
 参加者 神戸支部：30施設／65名 他支部：13施設／33名  
 演 題 「施設での高齢者虐待を防ぐために」  
 講 師 特定非営利活動法人 日本高齢者虐待防止センター  
 理事・事務局長：梶川 義人 氏



虐待防止の基本理念や講師の体験談等の講話に引き続き、昼食後はグループワーク形式による事例検討～課題分析を実施し、各人相互の意見交換や其々のグループ発表等を通して本題目の習熟に努めました。気さくな講師の個性が反映され、謹厳ながらも終始和やかな雰囲気の中、実践的且つ有意義な研修会となりました。

### 2) 「第12回：神戸市内の介護老人保健施設の活動展」

期 間 平成24年10月11日（木）～16日（火）  
 時 間 11：00～19：00（最終日は18：00迄）  
 場 所 JR神戸駅南側地下街デュオ神戸山の手 第2デュオぎやらりー  
 内 容 介護老人保健施設の啓発を目的とした施設案内、利用者の作品展示等  
 来場者 3570名（期間中延合計）  
 ご協賛 神戸市／神戸市介護サービス協会／神戸市社会福祉協議会

今回の開催に際し、事前に神戸新聞社宛て当イベント開催の告知（PR）依頼を行い、10月11日付け朝刊の「掲示板コーナー」欄に、活動展の概要・開催案内が掲載されました。



行事食を含めた施設給食の紹介やご利用者制作による各種作品の展示、並びに《神戸老健マップ》の掲示、会員施設各々の施設案内・パンフレットの設置等、例年の内容に準じた催しを実施しました。

### ◆役員会の開催報告について

定例役員会 3回開催

日 時 平成24年4月25日(水) 15:00～  
 場 所 神戸ポートピアホテル本館地下1階 梅の間  
 内 容 ・H24年度総会に於ける、資料・進行等の事前確認等

日 時 平成24年6月27日(水) 15:00～  
 場 所 神戸ポートピアホテル本館地下1階 北野の間  
 内 容 ・神戸市介護保険課より行政連絡  
 ・H24年度「学術研修会」について  
 ・H24年度総会の開催報告

日 時 平成24年9月18日(火) 16:00～  
 場 所 神戸ポートピアホテル南館地下1階 カトリアの間  
 内 容 ・神戸市介護保険課より行政連絡  
 ・平成24年度「学術研修会」の開催報告  
 ・神戸支部ホームページの作成(案)について

### ◆各部会事業の実施報告について

#### 1) 事務長部会活動報告

##### ◇研修会①

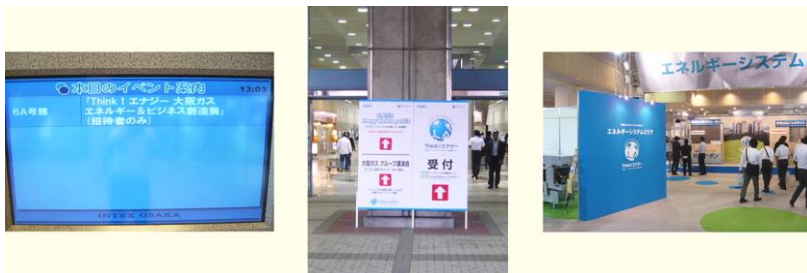
内 容 「計画停電の概要、及び停電時の備えと対応について」  
 日 時 平成24年7月9日(月) 14:00～16:00  
 場 所 神戸ポートピアホテル本館地下1階 北野の間  
 説明者 関西電力株式会社 中川/島村 両氏  
 参加者 31施設/32名





### ◇研修会②

内 容 大阪ガス「エネルギー&ビジネス創造展2012の見学・講演会」  
 日 時 平成24年9月26日（水） 12:00～16:30  
 場 所 インテックス大阪6号館A  
 講 演 講師：東国原 英夫 氏 演題：「ピンチをチャンスに」  
 参加者 22施設／26名



◇幹事会（開催日のみ） 4. 25（水） 7. 9（月） 8. 8（水）  
 8. 22（水） 9. 26（水）

## 2) 看護・介護・リハビリ部会活動報告

### ◇研修会

日 時 平成24年6月20日（水） 14:00～16:30  
 場 所 神戸勤労会館3階 308号室  
 テーマ 安全管理「K・Y（危険・予知）トレーニングについて」  
 講 師 社会福祉法人南海福祉事業会  
 特別養護老人ホームフィオーレ南海 施設長：柴尾 慶次 氏  
 内 容 リスクマネジメントの取り組み  
 参加者 34施設／80名（参加幹事を含む）



◇幹事会（開催日のみ） 4. 25（水） 5. 17（木） 6. 20（水）  
 7. 18（水） 8. 16（木） 9. 20（木）

### 3) 栄養・調理部会活動報告

#### ◇研修会

日 時 平成24年7月24日(火) 13:30~17:00  
場 所 神戸市教育会館5階 501号室  
テーマ 「褥瘡における栄養管理」\*講演及びグループワーク  
講 師 味の素ニュートリション(株)  
学術企画部:三浦 彰三氏  
参加者 41施設/47名(参加幹事を含む)



◇幹事会(開催日のみ) 4.25(水) 6.19(火) 7.24(火)

#### ※3部会合同幹事会

7.18(水)	第12回「介護老人保健施設の活動展」開催の打ち合わせ
10.10(水)	// 展示品等の搬入
10.16(火)	// 撤収

#### □「兵庫県音楽療法士による訪問コンサート」開催について

希望により、本年度は19施設でのコンサート実施を予定しております。現在までの実施状況については以下の通りです。

*実施済み	9.18	甲南老人保健施設
	9.19	シルバーステイあじさい
	10.16	マインレーベン
	10.18	ドリームヒルズ滝山
*実施予定	10月下旬以降15施設	

#### □新規加入施設のご紹介

医療法人社団会 倫生会 みどりの丘(垂水区) 平成24年10月~ 開設

#### ■神戸市議員団との意見交換会に係る「要望事項」について

去る8月24日、本年度の第2回:神戸市地域医療推進協議会理事会にて、来る11月2日に開催予定の「神戸市議員団との意見交換会」に向けた、参画各団体による意見陳述が取り纏められました。当協会にあっては、会長出席のうえ以下の要望書を提出し、4月の介護保険制度改正以降に於ける施設運営の窮状を訴えると共に、今後の報酬見直しと処遇の改善を強く訴望致しました。

※「要望書」の内容につきましては、6ページに原文を添付致しますのでご参照ください。

神戸市議員団（与党会派）との意見交換会  
老健施設の運営に於ける希望事項について

神戸介護老人保健施設協会（兵老健神戸支部） 会長 有本 雅子

介護報酬の実質マイナス改定等による収入減の見直しについて

平成24年4月の介護保険制度改正に於いては、要介護1～5を総じて※実質で平均2.5%程度の基本療養費（介護報酬）マイナス改定となっており、また、従来は別枠支給であった介護職への処遇改善交付金についても、同時期より介護報酬への加算として包括されたことから、これらの金額を支給後の介護報酬より差し引く仕組みとなり、前述の基本療養費マイナス改定と併わせて、報酬改定後の施設の実収入は、事実上の減額移行となっております。

これらの要因による4月以降の施設運営の実情と言えば、上記の収入減がストレートに経営を圧迫する結果となっており、職員の待遇保全や質の確保、また施設設備の維持・管理等々に於いて、資金的に将来の見通しの立たない状況に陥っております。

以上の窮状を踏まえ、今後の健全な施設経営に資するべく、近い将来に「介護報酬見直しによる実情に則した報酬の再設定」が実施されるよう願うと共に、「処遇改善交付金の介護報酬内包括廃止による別枠支給の復制」を切に希望致します。

※表向きの増額（プラス）改定として、今回より新たに一定期間内の在宅復帰実績に応じた2種の“在宅復帰機能強化加算”が設定されたものの、利用者の重度化（高度認知症・廃用性症候による寝たきり・経管栄養等）や家族形態の変化（老親介護への無関心・核家族化・住宅事情等）により、大多数の老健がこれらの算定要件を満たせていないのが実情であり、故に当加算を以ての増収、及び基本療養費減額分の補填とは成し難く、事実上の減収のみが重く押し掛かるマイナス改定となっている。

編集・発刊：神戸介護老人保健施設協会  
事務局：介護老人保健施設ハーベスパ